



福岡市議会議員(西区)

田中たかし

議会通信 vol.15 (2022年 夏号)

6月定例会 一般質問で登壇

やるならちゃんと! West Coastプロジェクト

写真・西城北崎エリアの二見ヶ浦

福岡市が推進する北崎・志賀島エリアの観光地化、Fukuoka East & West Coast プロジェクト。一般質問で取り上げたので、今回はその北崎での一枚。都心から小一時間でこの景色。素晴らしい!



「住んでよし、訪れてよし」の北崎へ!

市が進める北崎の観光地化、West Coast プロジェクト。住民にも観光客にも優しい観光地になるよう、6月議会一般質問で多くの提案!

1 観光地としての成功にはイメージの定着が必須 一体的なイメージ戦略を!

軽井沢や富良野など有名な観光地はパッとそのイメージが描けます。成功している観光地とイメージには重要な関連性があることは学術的にも証明されています。しかし、福岡市ではイメージ戦略が不十分。関係局間での共有もされていません。豊かな自然や美しい海岸線、お洒落なカフェ。北崎エリアのそのイメージがしっかり定着されるよう、全庁的な取り組みと地域住民への共有について要望しました。

2 住民も観光客も大迷惑!さらなる渋滞対策を!

二見ヶ浦付近では観光客による渋滞が悪化しています。また、休日などは糸島半島に至る道路での渋滞も大きな課題。対策は色々取っていますが、依然として解消されていないことを指摘し、**パーク&バスライド、駐車場の事前予約制、混雑時間帯を避けた観光客へのインセンティブの付与など、他観光地で効果を上げている対策を紹介した上で、積極的な渋滞対策を要望しました。**

3 住民の安全確保は市の責任 サイクリストへ注意喚起を!

昨今の健康志向、環境への配慮からサイクリストは増えており、市もサイクルツーリズムを推進しているにも関わらず、**自転車通行空間帯の整備が追いついていない上にサイクリストへの注意喚起の表示が何もないことを指摘(右図参照)**。北崎の観光地化を進めるのであれば、地域住民が危険な目に遭わないよう、自転車通行空間帯の早急な整備とサイクリストへの注意喚起表示を強く要望しました。自転車通行空間帯の整備には時間がかかりますが、**注意喚起表示については設置を検討するとの答弁でした。**

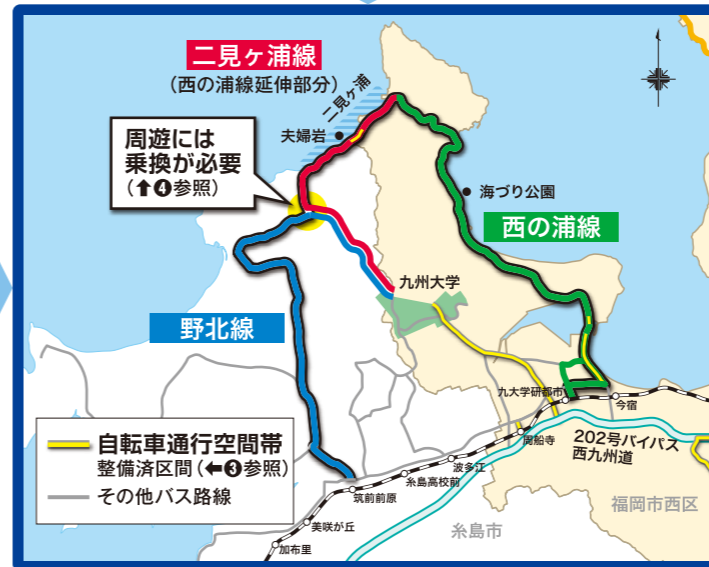
奈良や愛媛など他都市の観光地で取り入れられているサイクリストへの注意喚起表示をパネルを使って執行部に紹介。北崎エリアにはありません。住民の安全確保のために福岡市でも取り入れるよう要望しました。



4 住民と観光客との棲み分けが大切 糸島半島に観光周遊バスを!

観光客の増加により地域住民がバスの混雑に悩まされるようになってきました。また、観光客が糸島半島を一周できるような路線はありません。観光客が糸島半島を周遊するには途中で乗り換えなくてはならない状況です。これでは観光客も不便(下図参照)。

しかし、昭和バスさんもコロナ禍で経営が厳しい状況。市が支援策を取るべきですが、その考えは無いようです。全て民間事業者任せでは市として責任を果たしていません。地域住民が混雑に困らない、観光客は効率よく楽しめる、これを両立するには、まずは**住民と観光客との棲み分けが必須**。この棲み分けを実現するために天神博多で走っている観光客向けの「オープントップバス」の導入を提案しましたが、これも消極的。プロジェクトの主体として対策が不十分であることを強く指摘しました。



「ちぐはぐ」な施策で困るのは住民と観光客! 明確なビジョンの策定を!

今回の質問を通じて感じたのは、市の施策の「ちぐはぐ」感。「北崎に来てください!」と言っているのに進まない渋滞対策。サイクルツーリズムを推進しながら注意喚起の表示も無い。公共交通の利用を推進しながらバスの確保は民間事業者任せ。美しい海岸線を売りにしているのに清掃ボランティアへの支援は手薄。全庁一丸で進めるプロジェクトの割には紐づいた施策が少なく、地域住民や観光客が感じる課題に対しての関係各局の対応が場当たり的になっているのが現状です。

その理由として質問の中で「ビジョン」が無いことを指摘しました。綿密な調査をした上で入込み客数を設定し、それに向けて何をいつまでにどうするのか、最終的にどうい

5 美しい海岸線を守っているのは清掃ボランティア!さらなる支援を!

海岸線清掃の所管は県となりますが、県の清掃だけでは観光地としての景観は保てません。そのため、北崎エリアでは12団体が清掃活動ボランティアをしてくれています。そんなボランティアへの市の支援は回収したゴミを収集するのみ(場合によってはゴミ袋の提供もありますが)、市が観光地化を進めるのに、**清掃は市民任せという姿勢はあまりにも無責任と強く指摘**。市の責任で海岸清掃を行うのは物理的に無理だとしても、ボランティア間の連携推進や清掃箇所の棲み分けについて調整するなど、責任をもって支援をするよう要望しました。

6 糸島半島は糸島市抜きには語れない! 糸島市と歩調を合わせた観光施策を!

糸島半島は福岡市と糸島市で二分されていることから、糸島半島の一体的な観光振興には糸島市との連携が重要です。政令市である福岡市は市街化調整区域の規制緩和も含め、観光振興策の選択肢は色々ありますが、一般市の糸島市はそうはいきません。歩調を合わせた観光振興策を進め、福岡市と糸島市で観光客を奪い合うのではなく、**両市で糸島半島の将来像を共有し、同じ方向性のもと相互に潤う観光振興を進めれば糸島半島全体としての観光地ブランドも向上します**。駐車場情報や周遊促進などの連携は取っているようですが、局所的な連携だけではなく、糸島市との観光協定も視野に入れた大局的な連携を要望しました。



福岡市と糸島市の市境では、道路整備でも違いが見られる。(手前は福岡市、奥が糸島市)

田中たかしのプロフィール

福大大濠高校卒業 | 福岡市議会議員(1期目)
拓殖大学卒業 | 生活環境委員会委員
法政大学大学院修了 | 議会改革調査特別委員会委員
国会議員政策秘書等 | 九大移転・跡地対策協議会委員 他

田中たかし市政相談所

住所 〒819-0378 福岡市西区徳永北14-27 1F
Tel・Fax 092-407-6236
E-mail tanakatakashi.office@gmail.com



Facebook



ホームページ